6/24(土)　築地 朝日新聞東京本社にて

プログラミング教育　2020年小学校で必修化

シンポジウム『新しい学びと子どもたち』

主催　NPO CANVAS他 全国小中学生プログラミング大会実行委員会

共催　朝日新聞社

パネルディスカッション（漆品川女子学院校長・樹林伸・石戸CANVAS理事長）

講演（上松恵理子 武蔵野学院大准教授）

長年、国語の中高教員→留学→あまりに世界の国語の授業が違い過ぎて！！

参考図書　上松恵理子、「小学校にプログラミングがやってきた！超入門編」、三省堂(2016)

世界の教育現場のIT事情

英国	1995-2014に行なわれていたコンピュータ教育の教科を一旦廃止
	単なる情報教育は要らない→デジタルリテラシーが基本
	小1(日本の年長)からプログラミング教育が必修
	小3でGPSについて・セキュリティの重要性についても学ぶ
	小学生が先生に連れられて、高校のプログラミング授業を見学
フィンランド	Scratchで創造力・自己表現（アクティブラーニング）
	小学校で哲学も地理も歴史も必修科目。それら総てでタブレットを使っている
	導入にあたって教師研修が非常に多い。これは教師が忙殺されていないことを意味する
スウェーデン	宿題は先生に提出するものではない。皆んなでシェアするもの
デンマーク	国の政策で100%BYOD（自分のPCの持込み、ネットワークアクセスまで含む）
ニュージーランド	公立小の5～6年　正規カリキュラムにフィンテック（ファイナンス・テクノロジー）
	いずれ現金も使わなくなるという考えから
シンガポール	VR・AR(拡張現実)　無しでは授業は不可！！
オーストラリア・スウェーデン	幼稚園年長からひとり1メールアドレス（スウェーデンは小1）
エストニア（バルト3国）	小1の90%　スマホ普及率

世界は圧倒的に進んでいる（日本は心配し過ぎ）